

現代日本学演習 IV

調査的面接の基礎

田中重人 (東北大学文学部教授)

3年生対象：2023年度2学期(6セメスタ) <金3> 605 演習室 (文学部棟 6F) / Google Classroom クラスコード svfn6pp

1 『講義概要』 記載情報

到達目標：(1) 面接調査の長所と短所を把握する；(2) 面接調査の実際のプロセスについて、体験を通して習得する

目的・概要：面接法による質的調査の方法についての講義と実習をおこないます。講義では、面接調査の基本的な方法とプロセスについて解説します。実習では、受講者が各自の選んだ研究テーマに沿って文献収集をおこない、面接調査を実施し、その結果をレポートとして提出します。

教科書：松浦均・西口利文 (2008) 『観察法・調査的面接法の進め方』ナカニシヤ出版。

成績評価の方法：授業中の課題 (50%)、調査結果に基づく口頭発表とレポート (50%) を合計して評価する。

2 授業予定

- (1) 第1講 研究のイメージをつかむ
- (2) 第2講 調査的面接の方法
- (3) 各自の調査計画について相談
- (4) 第3講 対象者の選びかた
- (5) 第4講 シナリオの作成
- (6) 第5講 インタビュー実施から書き起こしまで
- (7) 第6講 分析
- (8) 第7講 報告書
- (9) 第8講 調査的面接の倫理
- (10) 意見交換, 発表会等
- (11) 期末レポート提出

3 宿題

配布する資料 (4部) を読んで、それぞれのインタビュー結果のまとめかたの特徴 について考えておくこと。